



## ○ 目標

今回は学校とは関係のない私事の内容から記述してみます。

私が居住しているところはひと言で言えば農村です。我が家も代々米やミカンを作ってきました。日本の農村それも水田の風景は美しいですね。棚田の美しい風景が有名になったり、美味しい日本酒の原料として知られたりと米作りへの関心を高めようとする努力もいろいろな方面で行われています。

米作りに欠かせないもののうち一番重要なものは水でしょうか。なければ水田の維持は不可能です。しかし私の地域は気候がよいかわりに水が少ないところです。そのため1km以上離れた川から“井出(溝)”を使って引いてきています。毎年5月にはたまった砂を掘り出す「井出掘り」を、7月には草刈りなどに関係する農家が総出で作業をしてきました。

代々続いてきたこの作業ですが、米作りをする家も減り、若者は多くが都会に行き、お年寄りも多くなりましたので、今は大変な重労働になりつつあります。昔は30~40名程度が参加して行っていたものを今は3~4名でこなさなければならなくなっています。重機の入れない小さな道の脇の溝ですから、砂の掘り出しはスコップ(シャベル?)での手作業です。日頃肉体労働をあまりしていない私にとっては特にきつい作業です。

黙々と掘り出し作業をしていく上で自然と動きに統一感が芽生えます。それは、ただ何も考えずに掘り進むのではなく、上流から下流へ進む人と下流から上流に進む人が出会ったところで一区間終了させるということの繰り返しです。そのときに誰からともなくふとつぶやかれたことばは「目標は遠くない方がええね。」でした。

この話題はこれで終わりですが、このたび研修会(全調協近畿中国四国地区協議会定例会議・研修会:オンライン)に参加してこのことを思い出しました。研修の主題は「モチベーションの維持・管理」というものです。その中で「短期・中期・長期目標」のことも少しふれられました。私はかつて教職員の面談などをするに当たりこのことを聴いたりしていました。長期は将来的な大きな夢や希望、中期は数年~10年程度の成長目標、短期は1~2年から1日単位、1時間単位のものもあるでしょうか。大きな夢はもった方がいいでしょうけれども、短期目標を一つずつクリアしていくという地道なことの積み重ねも成長につながりますね。要は短・中・長の使い分けでしょうか。これは学生にとっても教職員にとっても同じであろうと思います。

私自身の個人的な目標の内の一つに「1年間を通した学校の動きの把握」があります。当然経験しなければ具体的に理解できませんので1年かかります。地道に日々経験していこうと思っています。

## ○ 自校自賛

今年度初めてとなる一日体験入学が行われました。どうにか対面で行うことができました。実技の内容は「マカロンにチャレンジ」です。この日は2-2の学生4名が手伝ってくれました。二年生ともなれば、色々な道具の扱いにも慣れていきます。頼もしく思いました。



マスクとコック帽、同じコスチュームだと似顔絵は難関です。

今回の植物：ドクダミ

匂いが独特な“草”ですね。わが家では雑草ですが薬草・お茶など利用価値が沢山ある植物です。↑

